

令和2年度 ごみ処理基本計画評価シート（令和元年度実施分）

基本方針	①市民に信頼される基盤施設をめざして
施策	1. 安全安心で安定した効率的な処理体制の確保
担当課	全課

総合評価

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
<b>B</b>				

評価 A：順調に進んでいる。

B：概ね順調。又は、概ね順調だが、一部取組みの見直しが必要。

C：課題が多く、取組みの見直しが必要。

取組みの内容・成果

- ・適切な業務の管理及び継続的な改善を図ることを目的とした豊中市伊丹市クリーンランド内部評価委員会の運営を行い、ごみ焼却施設及びリサイクルプラザにおける内部モニタリング結果を公表した。
- ・安全衛生委員会を年12回開催し、労働災害ゼロ職場に向けた取組みを行った。
- ・クリーンランドにおけるごみの総搬入量は平成11年度以降、家庭系では平成12年度、事業系では平成15年度をピークに減少していたが、近年ではほぼ横ばいで推移しており、焼却施設では計画処理量を上回るごみが搬入されていることから、両市と情報共有を図るとともにクリーンランドの見学者へごみ減量の啓発を行った。
- ・両市と連携してごみ搬入物検査を定期的を実施することにより、産業廃棄物や分別不十分なごみに対して搬入業者へ指導を強化するなど適正搬入に努めた。
- ・リサイクルプラザにおける安全性、環境性、経済性及び日常点検・整備などに関するモニタリングを実施し、効率的で高品質な再資源化の向上に取り組んだ。
- ・ごみ処理経費について、受益と負担の適正化を図る観点から、ごみ処理施設使用料の改定準備を行った。
- ・ごみ焼却施設の着実な日常点検・整備の実施を行うとともに、さらに週や月ごとの保守点検整備や定期補修工事を行うことで各機器の性能維持・安定稼働を図った。
- ・ごみ質の急激な変化の際にも職員自らが適正かつ安全な手法を用いて対応することにより、安定したごみ焼却並びに最大限発電設備の能力を発揮した発電量の確保に努めた。

## 課題・今後の方向性

- ・今後も継続して豊中市伊丹市クリーンランド内部評価委員会の運営を行うとともに、今後は第3次一般廃棄物処理基本計画の進行管理も併せて行っていく。
- ・安全衛生委員会を中心に労働災害ゼロ職場に向けた取組みを推し進め、職員の安全確保に努める。
- ・ごみ焼却施設においては、整備計画時に設定した計画量を上回るごみが搬入されていることから、余力を持って処理することが困難な状況であるため、引き続き両市と連携してごみの減量に取り組む。
- ・リサイクルプラザの破碎処理工程において、充電式電池やそれらを内蔵する小型家電製品などの混入が発火事象の主な要因となり、施設の損傷や処理計画への影響が懸念されるとともに、プラスチック製容器包装の搬出先施設でも同様の発火が発生していることから、引き続き両市と連携して拠点回収や分別強化などの対策を検討する。
- ・リサイクルプラザでは、整備計画時のごみ質から乖離が見られることから、引き続き運營業務受託者と協議
- ・調整を行うことにより、計画処理量の確保や高品質な再資源化の維持を図る。
- ・ごみ処理経費の検証結果を踏まえた料金改定の実施を図るとともに、原則として4年ごとにごみ処理経費の検証を行う。
- ・引き続き、施設の安定稼働に向け、日常点検や整備を実施するとともに、適切な維持・管理及び計画的な補修工事を行うことで機能保全と長寿命化に努める。
- ・今後も適正に施設の運転維持管理を継続することにより、市民に信頼される施設運営をめざしていく。

施策評価	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
(1)ごみ減量の推進	A				
(2)適正搬入の促進	A				
(3)自律的な施設運営	A				
(4)計画的な施設維持・整備	A				
(5)最終処分場の安定的確保	A				
(6)人材の育成	A				
(7)職員の安全の確保	B				

指標	単位	2028年度 目標値	目標値・実績値の推移				
			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
安全衛生委員会の開催回数	回	12	12	12	12	12	12
			12				
搬入物検査の年間実施回数	回	52	52	52	52	52	52
			45				
受託者連絡会議の年間開催回数	回	12	12	12	12	12	12
			12				
資格・免許取得	名	6	6	6	6	6	6
			8				
安全衛生職員研修の年間受講回数	回	2	2	2	2	2	2
			2				
労災発生件数	件	0	0	0	0	0	0
			3				

上段は目標値、下段は実績値。

令和2年度 ごみ処理基本計画評価シート（令和元年度実施分）

基本方針 施策	①市民に信頼される基盤施設をめざして 2. 環境負荷低減と地球温暖化対策の推進		
担当課	施設課	関連課	再資源・搬入課

総合評価

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
A				

評価 A：順調に進んでいる。

B：概ね順調。又は、概ね順調だが、一部取組みの見直しが必要。

C：課題が多く、取組みの見直しが必要。

取組みの内容・成果

- ・公害防止に向け、日常点検時に各機器類からの異音・異臭の有無などを厳重にチェックするとともに、中央制御室においてもモニターにより各機器の運転状況の監視を行うことで、維持管理の徹底を図り、法定基準値及び自主基準値を遵守している。
- ・適切な運転管理を行うことで、焼却炉の安定稼働と効率的な運用による発電を行い、負荷軽減に努めた。
- ・リサイクルプラザの資源化率は、平成24年度の稼働当初から要求水準で定める50%以上を維持している。

課題・今後の方向性

- ・引き続き、公害防止に向け、着実な日常点検と整備及び運転状況の監視を実施する。
- ・リサイクルプラザの資源化率については、実績値である58%を今後の目標値と定め、品質確保に努める。

施策評価	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
(1)公害防止に向けた取組み	A				
(2)環境負荷低減に向けた取組み	A				

指標	単位	2028年度 目標値	目標値・実績値の推移				
			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
リサイクルプラザの資源化率	%	58	58	58	58	58	58
			60.67				
ごみ処理量当たりの発電電力量	kwh/t	590	590	590	590	590	590
			606.3				

上段は目標値、下段は実績値。

令和2年度 ごみ処理基本計画評価シート（令和元年度実施分）

基本方針 施策	①市民に信頼される基盤施設をめざして 3. 危機管理体制の強化
担当課	全課

総合評価

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
<b>B</b>				

評価 A：順調に進んでいる。

B：概ね順調。又は、概ね順調だが、一部取組みの見直しが必要。

C：課題が多く、取組みの見直しが必要。

取組みの内容・成果

- ・豊中市伊丹市クリーンランド危機管理対策会議を開催し、配備体制の整備を行った。
- ・クリーンランド見学者に現状のごみ処理量に余力がないことを説明し、災害発生時に廃棄物を受け入れられる余力の確保ができるようごみ減量の啓発を行った。
- ・災害廃棄物の受け入れを想定し、ごみピット内の堆積量を低く抑えた運転計画を作成するとともにごみの堆積量の誤差修正も行った。
- ・有事に備えた危機管理体制の強化の取組みとして、風水害を想定した受電設備前の防水対策について訓練を実施した。

また、充電式電池が原因とみられる火災が多発していることから、ごみピット火災を想定した消火訓練を実施した。

課題・今後の方向性

- ・令和2年度より周辺整備課がなくなることから、豊中市伊丹市クリーンランド危機管理対策会議設置要綱の見直しを行う。
- ・引き続き、災害等発生時の廃棄物を受け入れられる余力の確保に向け、市民のごみ減量意識の向上に向けた啓発に取り組む。
- ・クリーンランド危機管理対応方針を基に、あらゆる危機事態に備えた対策について検討して行く。とりわけ新型コロナウイルス感染予防対策については急務と考え、ごみ焼却業務に支障が無いようBCP（業務継続計画）の適宜見直しが必要である。

施策評価	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
(1)危機事態への実践力の向上	A				
(2)災害廃棄物対策	B				

指標	単位	2028年度 目標値	目標値・実績値の推移				
			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
危機管理訓練・研修	回	1回以上	1	1	1	1	1
			1				
危機管理対応マニュアル 見直し	件	1	1	1	1	1	1
			1				

上段は目標値、下段は実績値。

令和2年度 ごみ処理基本計画評価シート（令和元年度実施分）

基本方針 施策	②市民に愛され親しまれる学びや交流の場をめざして 1. 環境学習・啓発の推進		
担当課	再資源・搬入課	関連課	

総合評価

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
<b>B</b>				

評価 A：順調に進んでいる。

B：概ね順調。又は、概ね順調だが、一部取組みの見直しが必要。

C：課題が多く、取組みの見直しが必要。

取組みの内容・成果

・クリーンランドの施設見学や市民講座の開催、両市との協働による出前講座の実施などの環境学習を通じてごみの減量や分別をはじめとする啓発を行った。

課題・今後の方向性

・クリーンランドひろばの供用開始に伴い、ひろばとリサイクルプラザ及びごみ焼却施設を合わせた一体的な環境学習メニューを企画・実施することにより、来場者の増員を図る。  
 ・社会的課題となっている環境問題等に関連した講座を企画・実施するなど、情報発信に努める。  
 ・クリーンランドで実施している剪定枝チップ化事業に対する市民の認識度向上をめざし、啓発活動を強化する。

施策評価	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
(1)両市との協働による啓発	B				
(2)環境学習の充実	B				

指標	単位	2028年度 目標値	目標値・実績値の推移				
			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
市民講座の開催回数	回	12	12	12	12	12	12
			11				
施設見学者数	人	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
			8,923				
来場者アンケートによる チップ化事業の認知度	%	50	20.00	22.00	24.00	26.00	29.00
			18.00				

上段は目標値、下段は実績値。

令和2年度 ごみ処理基本計画評価シート（令和元年度実施分）

基本方針 施策	②市民に愛され親しまれる学びや交流の場をめざして 2. 市民に開かれた場や機会の創出		
担当課	再資源・搬入課	関連課	総務課

総合評価

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
<b>A</b>				

評価 A：順調に進んでいる。

B：概ね順調。又は、概ね順調だが、一部取組みの見直しが必要。

C：課題が多く、取組みの見直しが必要。

取組みの内容・成果

- ・クリーンランドフェスティバルの開催や両市のイベントに出展し、クリーンランドに関する啓発活動に努めるとともに、ごみ焼却施設の展望フロア開放デーを定期的で開催するなど、市民との交流を図った。
- ・クリーンランドひろば、ごみぶくろうの丘並びに駐車場を整備した。また、ひろばの一般開放に向け、芝生の養生を行うとともにひろばの適正な維持管理のため、業務委託を締結した。
- ・地元地域住民との良好な関係づくりのため地元連絡会議を開催し、情報提供・意見交換を行った。
- ・ごみぶくろうの丘の苗木スペースにおいて、両市環境団体等の協力のもと植樹を行った。

課題・今後の方向性

- ・リサイクルプラザとごみ焼却施設、クリーンランドひろばを一体的に活用することにより、幅広い環境学習の場となるよう検討する。
- ・ひろばの一般開放に向け、引続き芝生の養生を行う。
- ・地元連絡会議を開催し、地元地域住民との良好な関係づくりを継続する。

施策評価	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
(1)市民との信頼関係の構築	A				
(2)緑あふれる憩いと交流の場づくり	A				

指標	単位	2028年度 目標値	目標値・実績値の推移				
			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
地元連絡会議開催回数	回	1	1	1	1	1	1
			2				
展望フロア開放デーの開催回数	回	12	12	12	12	12	12
			11				
クリーンランドフェスティバルの来場者数	人	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
			1,285				